



CHART

#10

吹奏楽部

CHART#10です!! 今回の担当は、衛藤・冷水・村田です。出演していただくクラブは、吹奏楽部のみなさんです。吹奏楽部は現在部員数28名で、日々、精力的に活動をしています。主にコンクールやアンサンブルコンテスト、地域のイベントへの参加、野球応援、定期演奏会などを行っています。まずは、部長の栗山すみれさんにお話をお伺いしました。

吹奏楽部の魅力や、やりがいを感じる所はどこですか？

吹奏楽部は部員数が多いですが、皆で協力しながら1つの音楽を作り出す事に魅力を感じます。普段は楽器の各パートに分かれて練習をして、土曜、日曜に合奏練習をします。パート練習の時には見えてこなかった全体像が見えてきて、1つの音楽が完成した時に、やりがいを感じます。そして、今年度から顧問の先生が変わったのですが、すごく親身になって相談に乗ってくれ、先生と生徒が丸となってクラブや音楽を作り上げています。

部活動の中で身につけてほしい力は何ですか？

イベントなどで、部員が楽器運びをする時、周りを見て自分がすべきことを見つける力をつけてほしいです。そして、部員数が多いのでメリハリをつける力も必要です。講師の方に来ていただいた時など、部員は真剣に耳を傾けていますが、質問するなどの点においてはまだまだ消極的です。こうした事にも積極的に取り組んでほしいです。

最後に全校生徒に向けてメッセージをお願いします。

吹奏楽部は楽そうに見られがちですが、専門的な知識が必要で、大変な部活です。しかし、部員が大勢いるからこそ味わえる達成感があり、自分を支えてく

れる人がたくさんいます。楽しい事、苦しい事など色々ありますが、今はこの吹奏楽部に入って本当に良かったと胸を張って言えます。ぜひ、興味があれば見学にきてください。

—栗山さん、ありがとうございました。続いて、顧問の田中敦先生に全校生徒に向けてメッセージをお願いします。

— 栗山さん、ありがとうございました。続いて、顧問の田中敦先生に全校生徒に向けてのメッセージをいただきました。—

部員は各パートに別れて、工夫しながら日々、練習をしています。合奏の時、普段パートで練習していたことを皆で合わせることはすごく難しいけど、それもまた吹奏楽の楽しさだと思います。苦手なところ、得意なところを補い合いながら楽しむことも忘れずに、これからも頑張ってください。

— 田中先生、ありがとうございました。今回は吹奏楽部の皆様のご協力いただきました。ありがとうございました。—

